

全国盲ろう教育研究会 会報 第6号

2008. 4 発行
全国盲ろう教育研究会事務局

春の訪れとともに新年度がスタートしました。わくわく、ドキドキ・・・そんな新鮮な気持ちを大切に、そして、しっかりと地に足をつけて、子どもたちと共に活動していきたいですね。今年度も研究会の活動にご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

◆第6回研究協議会について

日時：2008年8月17日（日）13：00 開会
18日（月）16：00 閉会

* 前回お知らせした日程から変更しました

場所：神奈川県民ホール大会議室・小会議室

【みなとみらい線（横浜駅から6分）「日本大通り」駅下車、徒歩5分程度】

内容（予定）

実践報告Ⅰ 福島県立西郷養護学校

実践報告Ⅱ 地域作業所 わくわくわ〜く

ポスターセッション

ワークショップ

・わくわくわ〜く見学

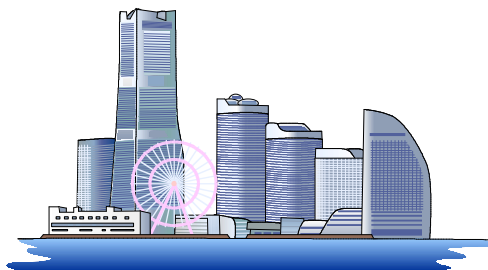
・情報機器について

携帯電話を活用した体表点字システム

ブレイルメモ

・盲ろう児童生徒を初めて担当したあなたへ

* 1日目の夜には、懇親会を予定しています。



多くの皆様のご参加をお待ちしております。各地の実践を分かち合えるよう、ポスター発表についてもどうぞご検討ください。

♪ 近日中に、研究協議会の開催要項にて詳細をご案内いたします。♪

◆重複障害、そして盲ろうの子どもたちに —特別支援学校にのぞむこと—

中澤 恵江

「聴覚障害 2008年3月号 通巻684号」より部分転載

筆者は、現在、いくつかの聾特別支援学校における盲ろう（視覚と聴覚の両方に障害を有する状態）の子どもたちへの優れた教育実践に触れる機会に恵まれています。それらの実践には、三つ共通するものがあります。一つは、すでに述べたように、子どもに適したコミュニケーション方法が選ばれ、聾特別支援学校の専門性が生かされていることです。

二つ目は、子どもにとって意味の分かる授業を行っていることです。それは例えば、ことばの学習であったり、数の学習であったりします。これらの授業が重複障害の子どもたちや、盲ろうの子どもたちに行われるとき、時として授業の形だけ行われて、子どもの思考と理解につながっていない場合があります。特に盲ろうの子どもの場合、視覚的に世界を学ぶ機会がないため、実際に体験したことだけが知識であるため、取り上げる題材じたいが、その盲ろうの子どもにとって意味のあるものかどうか、常に確認が必要です。子どもにとって意味の分かる授業をする第一の条件は、子どもの表情に対して、先生方が感度の高いアンテナをもつことにつきます。子どもの表情をよく見て、子どもがその授業を理解できていないのか、あるいは、ゆっくりとでも課題に向かって思考しているのか、その違いを見極めて、自らの授業を問い直すことだと思います。子どものつまづきの原因を子どもの障害のせいにならず、原因を整理し、課題や教材や教え方の改善につないでいくとき、子どもと教師共に学びの積み上げがある、すばらしい授業になります。重複障害のある子どもたち、そして盲ろうの子どもたちは、私たちと同じように、学ぶ喜び、理解する喜びを求める人たちです。彼らはまた、とても論理的です。私たち大人は、すでに多くのことを学習してしまっていて、学びに至った細かい道筋を忘れてしまい、提示する教材や教え方の中に、論理の省略をしてしまうことがあります。すると、彼らはたちどころに「わからない！」という表情で教えてくれます。優れた実践をつづけている先生方に共通していることは、その表情を常に尊重しているところです。

三つ目は、重複障害あるいは盲ろうの障害のある子どもたちを、同じ学級・学校の仲間として、幼い頃から様々な場面で他の子どもたちとの係わりを培い、お互いを理解する土壌をつくっていることです。それは、保護者同士についても、担当する教員同士についても同様です。同じ学校の大切な子どもたちとして教員が意識し、幼稚部および小学部低学年から、子ども同士の相互理解を促す取り組みをすすめている学校の中で育った生徒たちは、さまざまな場面でその成果を示してくれます。

最近のできごとを一つ紹介して、この文章の終わりとしたいと思います。昨年11月、T県において、広域の盲ろう者大会が開催されました。開会式のあと、県立聾学校高等部の生徒たちの勇壮な龍舞が披露されました。その中には、一人の盲ろうの高等部生徒も参加しており、舞台上に固定した龍の上の少年の役を担っていました。舞が終わり、退場するため長い龍隊が会場の中央通路を整然と進んでいきました。そのとき、通路近くに座っていた一人の盲ろう者（通訳介助者から状況の説明を受けていた）が、龍に手を伸ばさず動きを止めた。すると、先頭で龍頭を高く捧げていた少年が、とても自然に、進行を中

断しました。そして、龍頭を低く持ち直し、その盲ろう者が触りやすい位置においてくれました。この間、誰の指示もない中、少年たちは自分たちの判断で行動していました。これを境に、他の盲ろう者も通路に集まり、長い龍を触察しはじめ、少年たちはそれが一段落するまで、当たり前のように待っていました。少年たちの、この当たり前のような自然さに、T県立聾学校の力を見る思いがしました。

(「聴覚障害」編集責任者・筆者の許諾を得て掲載しました)

◆ホームページについて

全国盲ろう教育研究会のホームページをご存じですか。ブログでは、最新情報をお伝えしております。どうぞご覧ください。

URL <http://www.re-deafblind.net/>

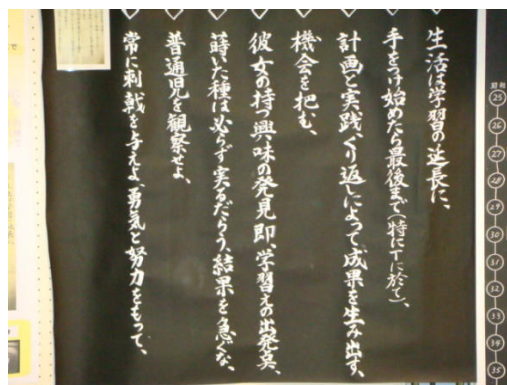
◆「盲ろう啞」教育教材・資料展および講演会

2008年2月29日から3月2日まで山梨県立盲学校にて「盲ろう啞」教材・教具展および講演会(29日)が開催されました。

山梨県立盲学校で視覚と聴覚に障害がある児童の教育が始められたのは、戦後間もない1949年のことです。今から60年近く前になります。(当時は「盲ろう」を「盲ろう啞」と表現していましたので、教材・資料展ではその表記を使用しています。)梅津八三教授ら我が国における第一線の研究者の研究を土台とした教育実践、そして、教育実践を踏まえた研究の深化、その研究成果に裏付けられた教育実践といったように、研究と教育が一体となった取り組みの中で、すばらしい成果を収めてきました。その当時の授業記録や教材・教具、16mmフィルムや記録写真などの貴重な資料が国立特別支援教育総合研究所保管されていますが、今回は、その資料の一部が公開されました。

また、同時に、「日本における盲ろう教育について」と題して、中澤 恵江氏の講演会が行われました。

「盲ろう啞」教材・教具展の様子を画像にて紹介いたします。



◆パンフレット・書籍の紹介

○盲ろう者の移動介助

東京盲ろう者友の会 発行

イラスト入りで、盲ろう者が触手話を受けながら、指点字を受けながらなどそれぞれのコミュニケーションパターンに応じた移動介助の基本姿勢を紹介しています。また、階段の昇降、電車の乗降などの事例をあげながら、盲ろう者にとって、安心・安全な移動介助方法を説明しています。

1部500円（送料込み）です。購入の申し込み等については、東京盲ろう者友の会事務局までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 東京盲ろう者友の会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-13 神保町藤和ビル8階

電話 03-3222-3001 FAX 03-3222-5665

E-mail tokyo-db@tokyo-db.or.jp

URL <http://www.tokyo-db.or.jp>

○目と耳の両方に不自由を感じている方（盲ろう者）への理解のために

社会福祉法人 全国盲ろう者協会 発行

盲ろう者とは？ 盲ろう者のコミュニケーション 通訳・介助者とは？ 病院・診療所の方へ ご家族の方へといった内容が簡潔に記されています。

入手ご希望の方は、全国盲ろう者協会までご連絡ください。（無料です）

社会福祉法人 全国盲ろう者協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 神保町センタービル7階

電話 03-3512-5056 FAX 03-3512-5057

E-mail info@jdba.or.jp

○盲ろう者への通訳・介助

社会福祉法人 全国盲ろう者協会 編著

一人ひとり異なるニーズを有する盲ろう者を支援するため、これまで生み出されてきた多種多様な通訳・介助などの方法と技術（手書き文字、音声、手話、指点字、点字、ローマ字式指文字、筆記、身振りサインや実物触察など）をわかりやすく解説しています。また、盲ろう福祉のあらまし、動向について等も解説しています。

1冊1,680円です。問い合わせ・注文等については、読書工房までご連絡ください。

読書工房

電話 03-5988-9160 FAX 03-5988-9161

E-mail info@d-kobo.jp

◆夏の盲ろう関係の大会などのお知らせ

○第18回全国盲ろう者大会

期日：8月22日（金）～25日（月）
場所：安芸グランドホテル（広島県廿日市）
申し込み締め切り：5月20日
主催：社会福祉法人 全国盲ろう者協会

○ふうわ（盲ろう児とその家族の集い）

期日：8月8日（金）～10日（日）
場所：ウエルサンピア福岡（福岡県福津市）
申し込み締め切り：6月10日
主催：ふうわ

◆会費納入のお知らせ

- ・2008年度年会費納入をお願いいたします。

年会費	：2000円
納入時期	：2008年5月末日まで

- ・2007年度分までの年会費納入がお済みでない方も、あわせて納入をお願いいたします。

- ・納入状況は、宛名ラベルに記載しています。ラベル出力後に納入された場合など、行き違いがありましたらご容赦ください。

◇振込・振替先（みずほ銀行、またはゆうちょ銀行をご利用ください）

みずほ銀行	本郷支店
口座番号	普通預金 8062806
口座名義	全国盲ろう教育研究会会計 柴崎 美穂
(ゼンコクモロウキョウイクケンキュウカクイ シハサキミ)	

ゆうちょ銀行	(振替口座を開設いたしました)
口座番号	00100-6-484136
加入者名	全国盲ろう教育研究会

発行：全国盲ろう教育研究会事務局

(事務局長 星 祐子)

電話 03-3942-6937 03-3943-5422

FAX 03-3942-6938 03-3943-5410

E-mail mourou@mbm.nifty.com

URL <http://www.re-deafblind.net/>